

平成 30 年度

インフラメンテナンス国民会議
事業計画書

平成 30 年 9 月 1 日

インフラメンテナンス国民会議

Japanese Congress for Infrastructure Management

1. 運営の基本的な考え方

我が国のインフラは、高度経済成長期などに集中的に整備され、短期間による高い経済・生活水準の実現に貢献してきた。しかし、我が国のインフラは老朽化が大きく進行しており、人口減少や地域経済縮小がさらに進んでインフラサービスの維持が困難となると、我が国や地域の経済や生活に大きく影響することが懸念される。すなわち、地域の今後の展開はインフラメンテナンスの成否が鍵を握っていると言っても言い過ぎではない。よって、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保し、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムへの転換を図ることは喫緊の課題である。

インフラメンテナンス国民会議（以下、「国民会議」という。）は、インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的として、平成 28 年 11 月 28 日に設立された。具体的には、インフラ老朽化の課題を社会全体で解決する新たなモデルを実現するため、施設管理者や建設業のほか異業種産業、市民、学術研究機関等の産学官民のあらゆる主体の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして運営していく。

設立時に 199 者だった会員も 1533 者が増え（平成 30 年 8 月 28 日現在）、会員または社会から国民会議に寄せられる期待も高まっており、平成 30 年度は地方フォーラム活動の推進により、活動のさらなる活性化を図る。

本事業計画書は、インフラメンテナンス国民会議実施要領に基づき定める事業計画であり、また、国民会議が社会に貢献していくために会員が共有すべきビジョンや中期展開などをまとめており、これに基づき平成 30 年度の国民会議を運営していく。

(1) 国民会議の目指すビジョン

会員は、以下の国民会議が目指すビジョンを共有しながら、その実現に向け、インフラメンテナンス国民会議実施要領第三条が定める事業内容を一丸となり取り組む。

（ビジョン）

- ・ 産学官民が知恵を出し合い、オープンイノベーションによってインフラ老朽化の課題を解決し、少子高齢・人口減少社会におけるより豊かな未来・まちづくりに貢献する。
- ・ 持続的にインフラ老朽化の課題の解決にあたるため、メンテナンス産業の魅力を高め、その裾野の拡がりを目指す。

(2) 中期的な展開

国民会議が目指すビジョンの実現に向けて、設立後から平成 32 年の自立的な活動に至るまでの以下の中期的な展開を共有し、運営していく。

(年次別の中期的な展開)

- ✓ H28 年度：国民会議の設立、5 フォーラムの設立
- ✓ H29 年度：既存 5 フォーラム活動の加速、地方フォーラムの設立、相互連携、成果の発現
- ✓ **H30 年度：フォーラム活動の充実と相互連携加速、成果の発現**
- ✓ H31 年度：国民会議活動の充実、成果の加速度的発現
- ✓ H32 年度：国民会議自立的活動の実現

(活動の方向性とその中期的な目標)

運営体制・・・設立時に計画された実行委員会、部会やフォーラムの活動を軌道に乗せるとともに、国民会議の活動に対する社会や会員のニーズを把握し、国民会議に期待される役割を踏まえた新たな活動を企画、運営する。

革新的技術の発掘と社会実装・・・インフラメンテナンス革命をもたらす革新的技術について、社会実装や現場試行のきっかけを生み出す、シーズ側とニーズ側との情報交換や人材交流を全国的に促進する。また、我が国のインフラメンテナンスの海外への市場展開を促進するため、海外市場に展開する具体的な案件を形成する。

企業等の連携の促進・・・インフラメンテナンスにおけるオープンイノベーションをさらに加速するための会員内外の企業等の連携のきっかけとなる取組を進める。

地方自治体への支援・・・地方自治体が平成 32 年までに行う個別施設計画の策定、実施を支援するため、会員自治体の抱える課題や国民会議における解決の到達点を明確にし、その解決に必要となる地方フォーラム活動を企画、実施していく。また、包括的民間委託や技術者派遣等の自治体支援方策について、包括的民間委託の事例の横展開や技術者派遣の制度化等の取組を官民連携して進め、良質で健全なサービスおよび市場を形成する。

インフラメンテナンスの理念の普及・・・インフラメンテナンスおよび国民会議の理念を社会に徐々に浸透させる。

インフラメンテナンスへの市民参画の推進・・・インフラメンテナンスへの理解や、市民参画の有り様についての社会の共通認識を徐々に形成するとともに、新たに市民参画に実践するモデル地域を発掘し、実現する。

(3) 平成 30 年度における活動の方針

国民会議の活動の中心をなすフォーラムについては、これまでに設立されたフォーラム（自治体支援、革新的技術、技術者育成、市民参画、海外市場展開）の活動を本格化させるとともに、会員の発意による新たな施設分野やテーマ等を扱うフォーラムの設置についても積極的に支援する。

地域単位で課題解決を目指す地方フォーラムについては、個別課題に対し全国フォーラムで共有された仕組みや技術・手法の地域における試行、さらには実装に向け検討する。また、地方フォーラムの運営に当たっては、革新的技術フォーラム等の全国的なフォーラムとのテーマ調整や、SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）が設ける地域実装支援チームとの連携を図り、現場におけるインフラメンテナンスの革新や新技術、新たな仕組みの社会実装に向けた地域レベルにおける効果的な成果を生み出す運営を図る。

また、国民会議の目指す社会のビジョンや国民会議のミッション、中期的な活動の方向性、内容について、有識者委員会を速やかに設置して諮り、提言をとりまとめて今後の国民会議の運営や組織体制、関係省庁による支援等に反映する。

関係省庁によるインフラメンテナンス大賞については第2回の表彰案件が決定した。今後関係省庁と連携し、第1回案件と合わせ表彰案件等の全国的な普及を図る。

また、本国民会議の自立的な運営（事務局等の完全な会員による運営）体制についても検討を行う。

成果目標と H30 年度の KPI を以下に示す。

・ 成果目標

地域がインフラ施設を自律的・継続的に維持管理することが可能な仕組みの構築
ならびに継続的に改善・イノベーションができる環境整備

・ H30 年度の KPI

① 国民会議の運営

運営体制：財政面含めた自立運営の確立のため、2019 年 3 月末までに実行委員会としての案の提示もしくは結論を国に答申する。

情報活用・管理：情報活用戦略策定体制ならびに情報管理実施体制を構築する。

② 革新的技術の発掘と社会実装

社会実装：新技術の社会実装に向けた規制緩和等、課題解決案の提言を行う。具体の提言に向け、KPI は現場試行数 30、社会実装数 10（新技術・新たな仕組み等導入に係る契約の締結や契約に向けた検討数を含む）とする。

③ 企業等の連携の促進

連携促進：地方フォーラムへの地元企業・団体等の参加の促進と、地元企業を中心とした企業連携や異業種間連携、産学連携など、地域の維持管理に向けたマッチングを促進する。KPI はマッチング検討数 50、マッチング成立数 5 とする。

④ 地方自治体への支援

実効性：新たな仕組みの現場試行、規制緩和・要領改訂に向けた検討等による支援自治体数 100 とする。

広域連携を想定した広域実証検討数 10 とする。

水平展開のための運営ノウハウ（成功例・失敗例・反省）を、各地方フォーラムは1つ以上作成提出する

⑤ インフラメンテナンスの理念の普及

普及活動：SNSによる情報発信の体制を構築し、運用を開始する。

国民会議ロゴの設定に向け、公募の準備を実施。

⑥ インフラメンテナンスへの市民参画の推進

市民参画推進：市民参画活動事例を作成し、地方フォーラムにおける紹介数 20 とする。

⑦ 自治体（地域）の課題解決に向けた具体取組みの推進

活動活性化：地方フォーラム実施数 20 回とマッチング・現場試行実施数 30 回とする。

上記の内、特に地方フォーラムを中心に推進していく内容につき以下に整理する。

項目	K P I
新 技 術	現場試行数：30 社会実装数：10
連 携 促 進	マッチング検討数：50 マッチング成立数：5
自 治 体 支 援	支援自治体数：100 広域実証検討数：10 地方フォーラム実施数：20 マッチング・現場試行実施数：30
市 民 参 画	地方フォーラムにおける紹介数：20

2. 事業計画

(1) 国民会議の運営

ア) 実行委員会・企画部会・広報部会

事業計画に基づく自立的な運営に向け、体制の検討を継続して行う。

地方フォーラム設立後に入会した会員等を対象として、国民会議の将来像の共有や各会員が国民会議で実現したい内容を把握するとともに、会員と事務局・実行委員の意思疎通を図るため、企業・団体・個人会員を対象とした**説明・意見交換の場**として地方フォーラムを活用し各ブロックにおいて開催する。

また、行政会員（地方自治体）については、国土交通省の協力を得て、インフラメンテナンスの課題を把握する。

事業計画の策定後速やかに有識者委員会の設置に向け人選を進め、委員会を設置・開催し、国民会議のミッションや中期的な活動の方向性、内容について諮り、提言をとりまとめる。

特に地方フォーラムを地域のインフラメンテナンスの課題解決の基盤とすべく、全国 10 ブロックの地方フォーラムの方向性や活動状況をモニタリングし、全国での共有化を図る。

また、情報活用・管理の体制に関し検討を進める。

イ) 企画部会

メンテナンス体制の維持が困難もしくは課題を抱えている地方自治体等が、厳しい財政事情や地域の担い手が不足する中で、今後策定が進められる個別施設計画に基づき着実にメンテナンスを実施していくためには、抜本的な生産性革命をもたらす新たなインフラメンテナンスの仕組みを各地域で産官学民連携により実現しなければ、適切なメンテナンスが立ちゆかなくなる可能性がある。

このため、企画部会では、インフラメンテナンスの将来像として、インフラメンテナンスの各段階における**革新的技術の導入や行政分野における民間ノウハウの活用の仕組みに関する検討**を行う。ここでは、インフラメンテナンスの要素である人材、資機材、システム、マネジメント等の導入に関し、施設管理者側、担い手側双方による地域間や広域的な共同化、市民や他産業との共同化、または地域づくりなどの新サービスへの展開等、これまでの枠組み、仕組みにとらわれず、生産性革命を実現するものを自治体支援の目指すべき将来像として描き出す。

そして地方フォーラムにおいて具体施策の試行・実装を目指す。

また、その実現に国民会議として取り組むため、**会員間の将来像の共有や社会への情報発信**などにも取り組む。

(2) 革新的技術の発掘と社会実装

ア) 革新的技術フォーラム

施設管理者の課題に対し、解決策となりうる会員が有する技術・サービス等についての集約と施設管理者に対する情報提供を行うとともに、今後の技術開発により解決を目指すテーマを対象に、ニーズ解決型の**メンテソリューション¹**を実施し、技術開発や現場試行の伴走を行う。さらには実装に向けた課題（技術評価方法、基準見直し等）を整理し、インフラメンテナンス（メンテナンスサイクル&マネジメントサイクル）の効率的運用を目指す。

インフラメンテナンスのイノベーションをもたらす大学や企業（異業種、ベンチャーを含む）等が取り組む技術、サービス開発等を発掘するためのシーズ発掘・育成型の**ピッチイベント²**は引き続いて実施する。

イ) 海外市場展開フォーラム

海外市場への展開のため海外進出を希望する会員を対象として、**海外で活用できる技術の整理、海外における技術需要の調査、海外での知名度向上を図る取組**を行うとともに、**具体的な海外進出の案件（市場）形成**を進める。

ウ) 地方フォーラム

全国の10ブロックにおいて設立した地方フォーラムにて地域を拠点として扱うことが妥当な地域単位の課題を対象として、様々な情報発信、交換等によるニーズ解決型の**フォーラム**を開催し、現場試行をはじめとする解決策の実装、事業化等の成果の実現に向け取組を進める。

さらに、自治体間の情報共有・交換による上記取組の推進や自治体間連携を促進する。

(3) 企業等の連携の促進

ア) 革新的技術フォーラム

インフラメンテナンスにイノベーションをもたらす可能性のある異分野技術やアイデアを有する企業との連携を促すため、会員企業がテーマを設定して異分野技術やアイデアを募集する**技術マッチングアイデアコンテスト**の開催や地方フォーラムにおけるニーズ解決に向けた検討を行う。

会員間を中心とした企業等の連携を促進するため、会員の持つ技術シーズや技術ニーズ、企業連携ニーズ等の情報共有・交換を地方フォーラムを通じて加速化させる。

さらに、実装に向けて技術評価や基準見直し等の課題や対応方策についても議論を進める。

イ) 地方フォーラム

地方フォーラムにおいて、地域を拠点として扱うことが妥当な地域単位の課題を対象として、様々な情報発信、交換等によるニーズ解決型の**フォーラム**を開催し、ニ-

¹ メンテソリューション・・・メンテナンス+ソリューション+マラソンの造語。施設管理者がメンテナンスに係る課題を提示し、オープンに議論して課題解決を目指すワークショップ手法。

² ピッチイベント・・・ショートプレゼンにより技術やサービスを紹介する催し。

ズ解決方策としての技術や仕組みの適用を企業間連携や産学官民間連携により構築する。

そして、解決策の実装、事業化等の成果の実現を目指す。

(4) 地方自治体への支援

ア) 自治体支援フォーラム

地方自治体が平成 32 年度までに策定、実施する個別施設計画の計画策定や実施の体制確立を支援するため、**会員自治体の体制や課題を把握し**、自治体の課題・ニーズ、取組についての情報発信や自治体間での情報共有を行うとともに、包括的民間委託、技術者派遣等の制度・体制に関する全国的テーマについてのノウハウの情報交換等を行う**自治体支援フォーラム**を継続的に開催する。

自治体支援フォーラムの機能は企画部会に持たせ、地方フォーラムとの密な連携を図る。

イ) 技術者育成フォーラム

包括的民間委託、技術者派遣等の新たな民間ノウハウを活用する手法において、担い手側に求められる企業連携やマネジメント体制の確立に向け、地域の担い手側に求められる役割や技術の方向性を模索する**シンポジウム**を全国各地で開催し、地方フォーラムにおいて、インフラメンテナンスの課題解決方策の具体方策として検討を進め試行さらには実装を目指す。

特に H29 に試行が実施された技術者派遣制度について、その全国的な制度化を目指し、SIP の地域実装支援チームや土木学会、自治体支援フォーラム等と連携し、**求められる技術者の資格や制度の枠組み等について検討**する。

(5) インフラメンテナンスの理念の普及

ア) 広報部会

インフラメンテナンスの理念の普及ならびにインフラメンテナンス国民会議の将来像を共有するため、国民会議の主催事業としてシンポジウム・イベント等の**広報**を実施するとともに、会員自らが SNS 等による情報発信やマスメディアによる紹介、地域貢献活動等を支援し、**国民会議による協力事業**として広報する。

併せて、インフラメンテナンス大賞等のベストプラクティスの収集に努め、会員間での情報共有を進めるとともに、シンポジウムやイベントを通じて紹介し、それらの事例の全国への拡大を図る。

また、事務局、実行委員会、会員間の意思疎通や情報共有を図るため、会員メルマガを隔週で発行する。また、会員イントラサイトを開設する。

図-1 に広報部会の果たす役割（立ち位置）を示す。

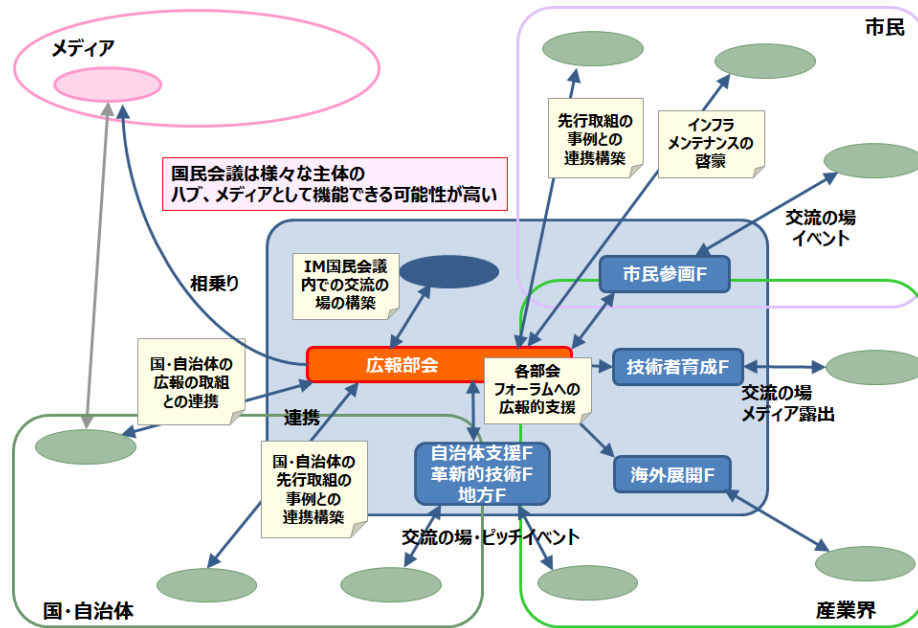


図-1 広報部会の果たす役割（立ち位置）

(6) インフラメンテナンスへの市民参画の推進

ア) 市民参画フォーラム

インフラメンテナンスにおける市民参画の意義を認識し、市民と行政の協働を促進しようとする機運のある地域に対し、その理解を深め導入を支援するため、インフラメンテナンスにおける市民参画についての**イベントやワークショップ等**を地方フォーラムをはじめとし、他のフォーラム活動と連携して実施する。

(7) 自治体（地域）の課題解決に向けた具体取組みの推進

地域のインフラメンテナンスの課題解決の基盤となるのが、「地方フォーラム」である。

図-2では、地域がインフラ施設を自律的・継続的に維持管理することが可能な仕組みの構築を地方フォーラムが地域の自治体とともに、産学官民で課題解決を図っていくことを示している。図-3では、地域の課題解決のためのプラットフォーム形成をスタートとし、様々な活動を経て、産学官民連携による地域インフラメンテナンス（新たな仕組みや技術の導入）の実現を目指すことを示している。

図-2に「インフラメンテナンス地域展開」の方向性、図-3に「地方フォーラム」の役割を示す。

地域がインフラ施設を自律的・継続的に維持管理することが可能な仕組みの構築を目指す。

自治体（地域）の課題が解決に向かいインフラの価値が高まる。

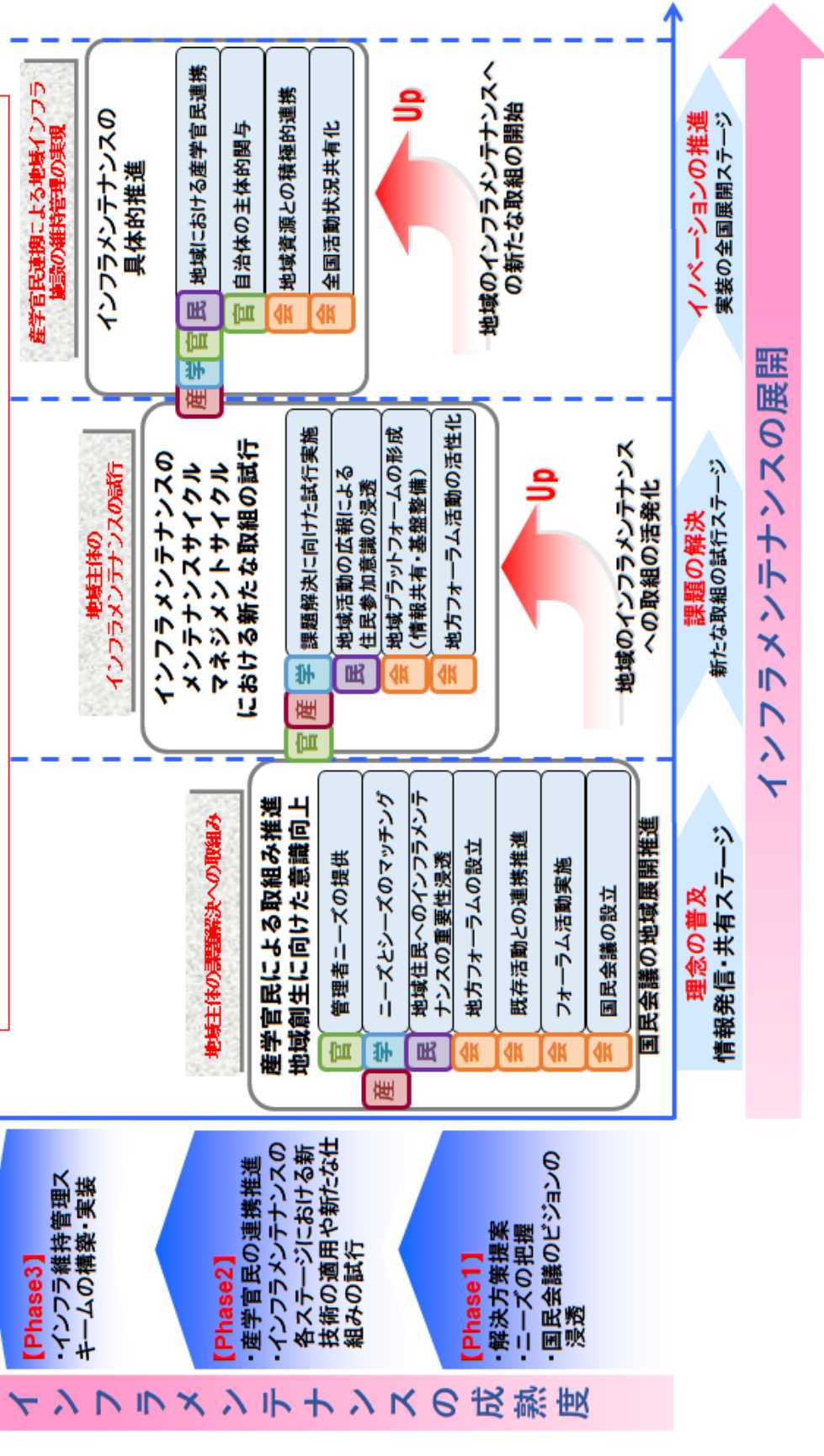


図-2 「インフラメンテナンス地域展開」の方向性

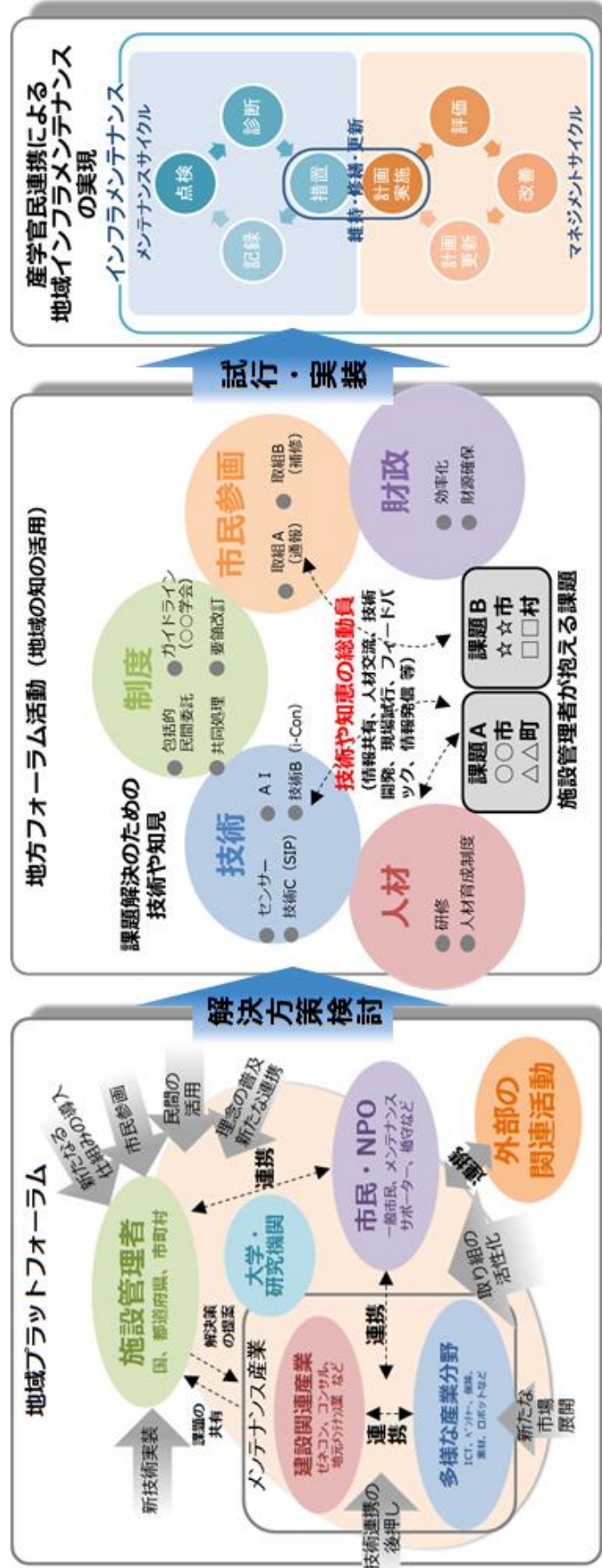


図-3 インフラメンテナンス国民会議「地方フォーラム」の役割

以下に、地方フォーラムの活動に関し、既実施ならびに計画の概要を示す。

地方フォーラム	活動計画（H30年度）概要							
北海道フォーラム	・自地方自治体へのアンケートやヒアリング等のニーズ調査を実施							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 349 959 394">活動・行事名、開催日</th> <th data-bbox="959 349 1481 394">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 394 959 633">・SIP・インフラメンテナンス国民会議共同イベントインフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム設立記念講演「地域を支えるメンテナンス技術とシステム」 ：8月22日（水）</td> <td data-bbox="959 394 1481 633">第1部：基調講演、活動報告 第2部：地方公共団体とのグループ討議</td> </tr> </tbody> </table>	活動・行事名、開催日	内容	・SIP・インフラメンテナンス国民会議共同イベントインフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム設立記念講演「地域を支えるメンテナンス技術とシステム」 ：8月22日（水）	第1部：基調講演、活動報告 第2部：地方公共団体とのグループ討議			
活動・行事名、開催日	内容							
・SIP・インフラメンテナンス国民会議共同イベントインフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム設立記念講演「地域を支えるメンテナンス技術とシステム」 ：8月22日（水）	第1部：基調講演、活動報告 第2部：地方公共団体とのグループ討議							
東北フォーラム	・活動体制の確立を図るとともに、自治体の課題を調査して「見える化」し、これに対する対応策を会員企業・団体の技術やノウハウ、大学の研究成果等を積極的に活用し、見出していく。							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 779 959 824">活動・行事名、開催日</th> <th data-bbox="959 779 1481 824">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 824 959 880">・設立フォーラム：8月21日（火）</td> <td data-bbox="959 824 1481 880">活動体制の確立、活動方針等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 880 959 974">・第3四半期および第4四半期マッチングイベント等開催</td> <td data-bbox="959 880 1481 974">ニーズとシーズのマッチング SIP 研究成果の紹介 等</td> </tr> </tbody> </table>	活動・行事名、開催日	内容	・設立フォーラム：8月21日（火）	活動体制の確立、活動方針等	・第3四半期および第4四半期マッチングイベント等開催	ニーズとシーズのマッチング SIP 研究成果の紹介 等	
	活動・行事名、開催日	内容						
・設立フォーラム：8月21日（火）	活動体制の確立、活動方針等							
・第3四半期および第4四半期マッチングイベント等開催	ニーズとシーズのマッチング SIP 研究成果の紹介 等							
関東フォーラム	・課題の明確化及び解決策について方向性を検討する「フォーラムイベント」及び企業からの技術ノウハウの説明を受け施設管理者が課題への適用性を検討する「ピッチイベント」を軸として、関東フォーラム企画委員会において企画し運営していく。また、運営にあたっては、地の利を活かし、国民会議実行委員会や部会との連絡調整を密にすると共に、国土交通省本省及び関東地方整備局の協力及び学識社等の助言を得て行う。							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 1261 959 1305">活動・行事名、開催日</th> <th data-bbox="959 1261 1481 1305">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1305 959 1361">・フォーラムイベント：9月開催予定</td> <td data-bbox="959 1305 1481 1361">テーマ検討中</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1361 959 1413">・ピッチイベント：12月開催予定</td> <td data-bbox="959 1361 1481 1413">テーマ検討中</td> </tr> </tbody> </table>	活動・行事名、開催日	内容	・フォーラムイベント：9月開催予定	テーマ検討中	・ピッチイベント：12月開催予定	テーマ検討中	
	活動・行事名、開催日	内容						
・フォーラムイベント：9月開催予定	テーマ検討中							
・ピッチイベント：12月開催予定	テーマ検討中							
北陸フォーラム	インフラメンテナンス維持・修繕技術を導入する体制などの仕組み作りの研究や支援、インフラメンテナンスにかかるグッドプラクティスの情報共有と技術導入支援、新技術・新工法の情報共有、学識協力者による自治体に対する個別技術相談を予定							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 1559 959 1603">活動・行事名、開催日</th> <th data-bbox="959 1559 1481 1603">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1603 959 1704">フォーラム：9月下旬～10月上旬開催予定</td> <td data-bbox="959 1603 1481 1704">講演：インフラメンテナンスにかかる取組み紹介（管内自治体）</td> </tr> </tbody> </table>	活動・行事名、開催日	内容	フォーラム：9月下旬～10月上旬開催予定	講演：インフラメンテナンスにかかる取組み紹介（管内自治体）			
活動・行事名、開催日	内容							
フォーラム：9月下旬～10月上旬開催予定	講演：インフラメンテナンスにかかる取組み紹介（管内自治体）							
中部フォーラム	・地方自治体のインフラメンテナンスに関する課題を深堀し、課題解決のための具体的な取組を提案し、自治体と共に伴走することを目指す。また、岐阜大学 SIP 実装プロジェクトとの連携を強化し、社会実装の促進・水平展開に着手する。							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="443 1850 959 1895">活動・行事名、開催日</th> <th data-bbox="959 1850 1481 1895">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="443 1895 959 1995">・フォーラム：7月23日（月）</td> <td data-bbox="959 1895 1481 1995">基調講演及び討論会（テーマ：包括的民間委託）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 1995 959 2047">・イベント：10月下旬開催予定</td> <td data-bbox="959 1995 1481 2047">新技術等の水平展開に向けた課題検討</td> </tr> </tbody> </table>	活動・行事名、開催日	内容	・フォーラム：7月23日（月）	基調講演及び討論会（テーマ：包括的民間委託）	・イベント：10月下旬開催予定	新技術等の水平展開に向けた課題検討	
	活動・行事名、開催日	内容						
・フォーラム：7月23日（月）	基調講演及び討論会（テーマ：包括的民間委託）							
・イベント：10月下旬開催予定	新技術等の水平展開に向けた課題検討							

地方フォーラム	活動計画（H30年度）概要	
近畿フォーラム	活動・行事名、開催日	内 容
	第5回フォーラム : 7月3日（水）	ニーズ提供：京都府・大阪市・京都市
	7月 第3回実証実験：7月27日（金）	桁下が狭隘で点検員による近接目視が不可能な「橋梁の近接目視点検を支援するカメラ技術等の活用」の実証実験。 ニーズ提供：滋賀県 フィールド提供：守山市
	インフラメンテナンス国民会議近畿フォーラム 2018	
	第3回ピッチイベント：8月23日（木）	技術展示・イベント
	実証実験報告会 : 8月23日（木）	特別講演（脇 雅史氏）
	第6回フォーラム : 8月24日（金） SIPとの連携イベント etc	技術展示・イベント
	8月 第4回、第5回実証実験（予定）	ニーズ提供：大阪市・奈良県
	10月 第4回ピッチイベント（予定）	第6回フォーラムの討議結果により
中国フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング（中国地方の企業間でのマッチングによる技術開発） ・ 自治体ニーズ（課題）解決に向けた民間企業のノウハウの情報交換（中国地方独自の課題解決策の検討） ・ 地域における技術者育成の活動支援（三方良しのフィールドイベント開催等） ・ インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動の展開（継続的な市民参加型イベント等の実践） 	
	活動・行事名、開催日	内 容
	インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」発足会議：6月28日（月）	「ちゅうごく」の概要説明 講演1：「産官学で取り組むインフラメンテナンス」 講演2：「産官学で取り組む『岡山工業高校道路パトロール隊』活動報告」
四国フォーラム	<p>第一回四国地方フォーラムで議論された以下の課題について、解決策や新技術の開発について取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① メンテナンス技術者の人材確保について ② 路面陥没等危険要因の対策とデータベース化につて ③ 長寿命化を視野に入れた橋梁の維持管理上の課題について ④ 除草作業における課題について（狭隘な路肩作業における草刈りとその集草） 	
九州フォーラム	活動・行事名、開催日	内 容
	キックオフフォーラム：7月30日（月）	「九州におけるインフラメンテナンスの現状と課題」と題して様々な立場から意

地方フォーラム	活動計画（H30年度）概要	
		見をいただき、維持管理面のニーズ発掘を目指す。
	第2回フォーラム : 12月頃開催予定	アンケート実施により得られた自治体ニーズを分析し、ニーズに対するシーズ技術のマッチングイベントを開催する。
沖縄フォーラム	技術開発の推進に向けた情報交換、ベストプラクティスの水平展開を行うとともに、自治体支援を進めるうえで、自治体が抱えている課題をヒアリング・話し合いをしながら把握し、把握した課題に関する産官学が一堂に会して議論し、今後取り組むべき検討課題・テーマを整理し、今後の進め方を決定する。	
	活動・行事名、開催日	内 容
	自治体ヒアリング : 6月～8月	課題把握
	グループ討議 : 10月～11月	今後取り組むべき検討課題・テーマの決定